

配膳ロボットの3年レンタルプラン

「CATBO36」月額9万6800円で

「ジャロックホールディングス」



ジャロック 代表取締役社長 齊藤力丸氏

ジャロックホールディングス(東京都中野区)は、ネコ型配膳ロボット「BeiaBot」を3年レンタル商品「CATBO36(キヤトボ36)」として商品化、3月18日から販売を始めた。

BeiaBotは、中国・深圳のロボット大手Pudu Robotics社が開発し、

ディスプレイは猫の形をしており、数10種類の表情と何百ものオリジナル会話コンテンツをAIでサポートする。積載量は最大40kgで、4つのトレイを搭載。複数の配膳・下げ膳が可能だ。ジャロックホールディングスは、創業58年の物流機器メーカー。ジャロックのテクノロジ部門として、物流施設の運営効率化のための自動搬送機やロボット等を提供。現場の「ロボットと人の共生」に取り組んできた。この考え方を一歩進めるため、より生活に密着したロボットを取り扱うことを企画。レストラン等での配膳業務をサポートするBeiaBotの取り扱いを決め、Pudu Robotics社の日本法人と販売代理契約を結んだ。



▲ホテルレジーナ河口湖(山梨県南都留郡)でも実証実験を行った

代表取締役社長の齊藤力丸氏は「インターネット通販等のECサービスの普及に伴い、物流施設の自動化・効率化が飛躍的に進んでいる」と語る。ロボットと人が同じ環境で働く「共生」の重要性を考える中で、物流施設と同様の課題を抱えている分野としてサービス業に着目。サービスロボットのなかでも、実務面とエンターテインメント性の両方を兼ね備えたBeiaBotの提供を決めた。

ZMP(東京都文京区)は6月30日、東芝エレベーター(川崎市幸区)のエレベーターラウドと連携し、ロボットとエレベーターの相互連携に関する実証実験を行ったと発表した。ロボットを制御・監視する管理システム「ROBO-HI(ロボハイ)」と、エレベーターのクラウドとをAPI連携し、ロボ



代表取締役社長 谷口恒氏

ットがエレベーターを呼び出したり、目的階まで移動した後にエレベーターを降車したりといった一連のビル内垂直移動を、人の手を介することなく行った。実証に際しては、無人警備・消毒ロボ「PA-TORO(パトロ)」で検証した。

現在、運送・警備業務の労働力不足が深刻になり、ロボットを活用する等の自動化に期待が高まっている。道路交通法の改正等、ロボットが活躍しやすい環境整備も整いつつある。屋内環境でも経済産業省の主導で「ロボットと施設設備のシ

警備ロボットとエレベーターとの連携実験 東芝エレベーターと協業フロア間移動も実施

「ZMP」

トがエレベーターを呼び出したり、目的階まで移動した後にエレベーターを降車したりといった一連のビル内垂直移動を、人の手を介することなく行った。実証に際しては、無人警備・消毒ロボ「PA-TORO(パトロ)」で検証した。

現在、運送・警備業務の労働力不足が深刻になり、ロボットを活用する等の自動化に期待が高まっている。道路交通法の改正等、ロボットが活躍しやすい環境整備も整いつつある。屋内環境でも経済産業省の主導で「ロボットと施設設備のシ

JR東日本ホテルメッツの新しいおもてなし Remoline(リモライン)に技術提供

【タイムリープ】

タイムリープ(東京都千代田区)が開発・提供する遠隔接客サービス「RURA(ルラ)」が、日本ホテル(東京都豊島区)が運営する「JR東日本ホテルメッツ」の都内2ホテルに採用された。

2ホテルでは4月1日から、新しいおもてなしの体制「Remoline(リモライン)」の運用を始めた。フロントの自動チェックイン機近くに専用モニターを設置。案内を必要とする宿泊客にリモートスタッフが画面越しにコミュニケーションを取り、案内やチェックイン手続きをサポートする。運用に際して、日本ホテルは専用窓口「リモートセンター」を新設、リモートによる接客サービス機能を集約し、各ホテルのフロントスタッフと並行して接客ができる体制を整えた。導入前には運用試験



▲少人数で多拠点をカバーできる

も行った。リモート接客を利用した宿泊客からアンケート回答の協力を得て、オペレーションの見直し等を繰り返した。その結果、好意的な評価が得られるようになったことを踏まえてRemolineの本格運用に至った。Remolineに使用されているRURAは、オンラインで接客を遠隔地から行えるサービス。店舗・施設に専用のモニターを設置し、画面越しに対面したはアバターを通じて来店客とスタッフがコミュニケーションを取ることができる。少人数のスタッフで

複数拠点のリモート接客を同時に管理できることが特徴。待機中は一つの画面に各拠点の画面、同僚スタッフのステータス等が表示され、スタッフ同士がコミュニケーションを取ることが可能となる。

遠隔非接触の接客を支援 自動チェックイン機に機能搭載

「日本NCRビジネスソリューション」

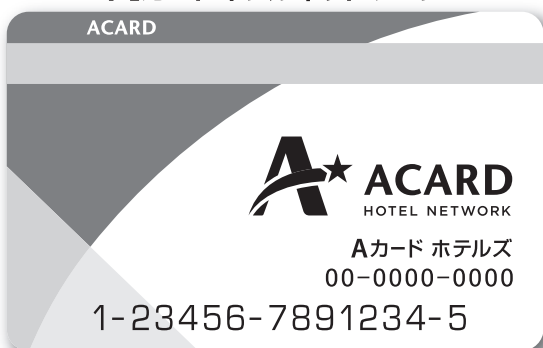
日本NCRビジネスソリューション(東京都品川区)は7月から、や操作支援等が行える遠隔支援サービス「エスオース」の本格運用と提供を始める。

同社が提供するホテル自動チェックイン機を通じて、来館した宿泊客と遠隔地にいるホテルスタッフとをリモ

リピーター獲得で売り上げアップ!

独立系ホテルのための集客ツール ポイントカード

Aカードホテルネットワーク



導入費用0円

Aカードが集客のお手伝いをします! お問い合わせはこちら

株式会社Aカードホテルシステム TEL 03-5755-5531

E-mail: info@acard.jp Aカード 検索

加盟店 517 施設 47都道府県に加盟店あり

客室数 51,087 室 国内最大級

会員数 128 万人突破! ビジネス出張のリピーター客



※2022年7月現在